

| | | | |
|----------|---|-------------|--|
| 科目 | 高分子材料化学I (Polymer Material Chemistry I) | | |
| 担当教員 | 根本 忠将 講師 | | |
| 対象学年等 | 応用化学専攻・1年・前期・選択・2単位 | | |
| 学習・教育目標 | A4-AC1(100%) | JABEE基準1(1) | (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g) |
| 授業の概要と方針 | 本科で履修した高分子化学及び応用有機化学の基本知識を確認するとともに、実践的な高分子合成ならびに高分子材料への応用を講義を通して学ぶ。 | | |
| | 到達目標 | 達成度 | 到達目標毎の評価方法と基準 |
| 1 | 【A4-AC1】 高分子合成化学及び高分子工業に関する基礎知識の習得 | | 高分子合成化学及び高分子工業化学の基礎知識が習得できていることを、試験ならびにレポートにより評価する |
| 2 | 【A4-AC1】 高分子合成ならびに高分子工業の基礎知識をもとに、様々な問題を解決できること | | 高分子化学の基本的な知識を応用して種々問題に対応できるかを、試験、演習ならびにレポートにより評価する |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 総合評価 | 成績は、試験70%、レポート20%、演習10%として評価する。試験は中間試験と定期試験を各々100点満点で評価し、これを平均後、70点に換算する。冬季休業中に課したレポートを20点満点で評価し、さらに講義中に行った演習を10点満点で評価した後、全てを併せて最終成績とする。100点満点で60点以上を合格とする。 | | |
| テキスト | 「高分子合成化学」 監修： 山下雄也 (東京電機大学出版局) | | |
| 参考書 | 「高分子化学I - 合成」 中條善樹 (丸善) 「コンパクト高分子化学」 宮下徳治 (三共出版) | | |
| 関連科目 | 高分子化学, 応用有機化学II | | |
| 履修上の注意事項 | | | |

